



主 張

学びが世界を変える

杉 本 英 雄

三〇年ほど前、初めて勤務した中学校は岸和田市にある岸城中学校夜間学級でした。美術科の非常勤講師です。不勉強だった私は、日本に文字の読み書きができない人がいるということを知らず、「あいうえお」から練習している方が何人もおられることに衝撃を受けました。そして、文字が書けない人に絵を描いてもらうことの難しさを思い知りました。教材を工夫し、一緒に絵を描き、時には文字や計算も教えながら、生徒たちとともに自身も成長させていただきました。この経験が私の授業力の基盤となっています。

そして、新年を迎えたある日、一人の生徒から年賀状が届きました。私は、その年賀はがきを見た時のことを今でも忘れません。一生懸命に学んだ文字を、苦勞しながら一文字ずつ書いてくれたのだということは見ればすぐわかりました。その年賀状には、私への感謝の言葉とともに、干支である猪の絵が描かれていました。決して上手な絵ではありませんでしたが、私にとっては何よりも素敵な作品に見えました。

私は、「学力とは何か」という話になった時、このことをよく思い出します。「知識」や「技能」というものは、習得することに意義があるのは当然ですが、生活の中で様々な問



題を解決し、夢や願いをかなえるために活用されなければ意味がありません。年賀状を書いてくれた生徒には、「文字の読み書きができるようになって、お世話になった人たちに年賀状を送ってみたい」という夢がありました。そのために、血のにじむような苦労を重ねて文字を獲得したのです。これこそが「学び」の原点なのだとは私は思っています。そのような素晴らしい出会いから教師人生をスタートできたことは私の財産です。

今年、私が勤務している泉佐野市に新たな夜間学級が開設されました。いつかもう一度夜間学級で授業をするのが夢だった私は、先日、佐野中学校夜間学級で美術の授業をさせていただきました。昔とはちがいで、外国にルーツをもつ生徒が多かったのですが、心から喜んで授業に参加し、一生懸命に課題に取り組む姿は三〇年前と同じでした。

その夜間学級の入学式で、代表の生徒が読み上げた「誓いの言葉」の中に、次のような文章がありました。

「学びが世界を変える。学ぶことで人生はもっと良くなる」

私は、この言葉を胸に刻み、子どもたちの幸せな未来につながる教育活動の充実に向けて、これからも邁進したいと思っています。

(全日中副会長・大阪府泉佐野市立新池中学校長)